

ジャーナリズム

Journalism Education

ジャーナリズムの「イズム」は人間に宿る。自らの思考を鍛えよう。

設置の趣旨・概要

本学ではジャーナリズムに関心を持ち、将来そのような職業に就いて活躍したいという希望を抱いて入学してくる学生諸君が少なくありません。また実際にジャーナリズムの分野に多くの卒業生を送り出してきました。それは本学の特色とするところであり、そのような意欲をもった学生諸君はあらゆる学部に散在しています。本副専攻はそのような学生諸君に対して将来の仕事・職業への実践的準備をする機会を提供しようとするものです。

今日、ジャーナリズムは激動の只中にあります。ジャーナリズムは「マスコミ」体制の閉塞のなかであえぎつつも、その本来の「イズム」の担い手を「個」のなかに求めて脱出口を探しています。メディア・システムはインターネットをも包み込んだ地殻変動のなかで、相互の垣根がない融合状態へと進み、制度的にも産業的にも重大な過渡期にあります。

メディアの作り出す文化現象はグローバル化のなかで国境を始めとした既存のさまざまな境界を問い直し、新しい社会意識を生み出しつつあります。しかし同時に、ナショナリズムへの回帰など逆流現象も見られます。これらさまざまな動向と現象が捻り合わされて、太い変化の潮流を作り出しているのです。

このような状況の中で、専門的に仕事をするジャーナリストなどの職業人や社会の中で実践的に働く市民活動家も、この事態をより客観的、体系的、構造的に捉え、将来への展望を拓きたいと努力してきました。双方の関心と努力と展望が交差し重なるところに、この副専攻の教育プログラムは成立しています。

ジャーナリズムは民主主義社会を支える土台です。このプログラムはその担い手となる人材育成という社会の要請を視野に入れて設置されたものです。

みなさんには自分たちが置かれた同時時代状況を深く掘り下げて考え、実践しながら学ぶとともに、自分の周辺で、身近な社会で、地域で、日本で、世界で、メディアで、いま何が起きているかに強い関心を払いつつ勉強して欲しいと思います。森羅万象が関心対象になります。このように構えることは、きっと知的にも実践的にもワクワクする、冒険的な機会になることでしょう。

履修モデル

この副専攻の教育プログラムはコア科目群と選択科目群から成っています。

◆コア科目群は「ジャーナリズム」を学ぶうえでの中核的な科目を据えています。ここではジャーナリズムの理論と歴史を学び、同時代についての批判的・分析的な社会認識を獲得し、そしてジャーナリストの経験的な知と実践的な精神から学ぶことが目標です。これはいわゆる「マスコミ教育」ではなく、むしろ「ジャーナリスト養成教育」と呼べるものです。「ジャーナリズムとは何か」「ジャーナリストとはどのような職業か」を理解し、その「ものの見方」や姿勢を明確に意識した上で、その道に進んで行って欲しいと思います。演習で採っている教育方針は2つあり、ひとつはジャーナリズムがその社会的機能を果たしたときのケースと作品とジャーナリストから学ぶこと、もうひとつは観察者の立場に立って出来事の現場と当事者（つまり「他者」）からいかに学ぶかということです。

◆選択科目群では、映像文化、情報社会論、マスコミュニケーションの理論など、現代のジャーナリズム環境を理解する上での基本的な枠組みを学び、現状に対する批判的視点を獲得するようになっています。●履修方法としては、コア科目群を中心にしながら履修し、自分自身の関心に合わせて選択科目群の科目で補強して行ってください。コア科目で取得した単位数は選択科目の単位数に読み替えることができますので、コア科目だけでもコース修了に必要な大部分の単位を揃えることは可能です。

履修モデルとして優先順位は次のとおりです。

- 1 1年生か2年生でコア科目「ジャーナリズム概論」を履修する。これが入口になります。
- 2 コア科目「ドキュメンタリー論」(映画)(テレビ)を平行してか、翌年履修する。
- 3 「ジャーナリズム概論」もしくは「ドキュメンタリー論」(映画)の単位取得後に、「ジャーナリズム演習ベーシック」へ進む。
- 4 できれば3年生のときに「インターンシップ実習マスメディア」を履修する。
- 5 1~4の間に興味のある選択科目を履修し、修了に必要な単位数16単位を達成する。

以上の流れをその順番で進めてもよいし、同時並行的に、計画的に進めてもよいでしょう。

履修開始時	修了時	修了後の展望
本コースに興味・関心がある	ジャーナリズムについて実践的な深い知識を獲得し、メディアや文化現象についても一般的な理解をもっている。希望する職業分野について知的なスタンバイ状態を達成している。	・「コミュニケーション関連職業」に就く。ジャーナリスト、メディア産業、文化産業、広報活動、市民活動、NPO、NGOなど。 ・関連領域の大学院への進学。

学生へのメッセージ

今日のジャーナリズム状況の中で自分を失わずにアクティブに生きていくためには、先入観にとらわれない領域横断的な知の構築、この時代に主体的に関わろうという実践的な倫理観、そして他者への表現能力と伝達能力が必要です。学びへの旺盛な意欲をもった学生諸君の受講を期待し、歓迎します。

みなさんの所属学部で主専攻をしっかり学習することを前提として、ここでの副専攻としての学習があることを自覚し、計画的に大学生活を送ってほしいと思います。大学には使い切れないほどに、学習のための機会と資源があります。

指定科目一覧

※備考欄の記載事項

追 加・・・2016年度より、指定科目として追加になった科目です。

取 下 げ・・・2016年度に指定科目から取下げとなった科目です。2015年度まで単位を修得していた場合は、修了単位として認定されます。

変 更・・・指定科目の区分（コア／選択）については、単位を修得した年度に指定されていた区分で、修了単位として認定されます。

修了必要単位

16単位（コア科目：4単位、選択科目：12単位）以上

★コア科目

修了必要単位：4単位

項	設置学部・センター	科 目 名 称	担当教員名	配当年次	学期	曜日時限	キャンパス	単位	履修	備 考
1	GEC	ジャーナリズム概論	花田 達朗 他	1年以上	春学期(前半)	木4-5	早稲田	2	○	履修必須
2	GEC	ドキュメンタリー論 (映画)	野中 章弘 他	1年以上	春学期(後半)	金6-7	早稲田	2	○	2015年度以前科目名称：「ドキュメンタリー論 ベーシック」
3	GEC	ドキュメンタリー論 (テレビ)	野中 章弘 他	1年以上	秋学期(後半)	金6-7	早稲田	2	○	2015年度以前科目名称：ドキュメンタリー論 アドバンスト
—	GEC	グローバル文化論								コア科目から選択科目へ変更
4	GEC	ジャーナリズム演習 アドバンスト	野中 章弘 他	2年以上	春学期(前半)	月4-5	早稲田	2	○	
5	GEC	ジャーナリズム演習 ベーシック 1	野中 章弘 他	1年以上	秋学期(前半)	木4-5	早稲田	2	○	2015年度以前科目名称：「ジャーナリズム演習 ベーシック」
6	GEC	ジャーナリズム演習 ベーシック 2	野中 章弘 他	1年以上	秋学期(後半)	木4-5	早稲田	2	○	
7	GEC	インターンシップ実習 03 (マスメディア)	花田 達朗 他	1年以上	秋学期	土4-5	早稲田	2	○	
8	GEC	インターンシップ実習 07 (上級)	花田 達朗 他	1年以上	秋学期	土4-5	早稲田	2	○	

注1 コア科目を修了必要単位数以上取得した場合は、選択科目に振替えられます。

★選択科目

修了必要単位：12単位

項	設置学部・センター	科 目 名 称	担当教員名	配当年次	学期	曜日時限	キャンパス	単位	履修	備 考
1	GEC	21世紀世界における戦争と平和 (入門・歴史)	奥迫 元 他	1年以上	春学期	土2時限	早稲田	2		
2	GEC	21世紀世界における戦争と平和 (争点、ケース)	奥迫 元 他	1年以上	秋学期	土2時限	早稲田	2		
3	GEC	映画のすべて マスターズ・オブ・シネマ	元村 直樹 他	1年以上	春学期	土4時限	早稲田	2	○	
—	GEC	情報化社会論						2		廃止、取下げ
4	GEC	大久保建男スポーツジャーナリズム基金寄附講座 スポーツジャーナリズム論	中村 好男 他	1年以上	春学期	金2時限	早稲田	2	○	
5	GEC	地域連携と地域競争力	藁谷 友紀 他	1年以上	秋学期	水5時限	早稲田	2		
6	GEC	報道が社会を変える—取材過程論—	八巻 和彦	1年以上	春学期	火4時限	早稲田	2	○	
7	GEC	メディア文化研究	毛利 嘉孝	1年以上	春学期	月3時限	早稲田	2	○	
8	GEC	グローバル文化論	毛利 嘉孝	1年以上	秋学期	月3時限	早稲田	2	○	
—	政経	映像文化論A 01						2		廃止、取下げ
—	政経	映像文化論B 01						2		廃止、取下げ
9	政経	映像文化論 01	谷川 建司	2年以上	春学期	金5時限	早稲田	2		
10	教育	マスコミュニケーション概論Ⅰ	花田 達朗	1年以上	春学期	水3時限	早稲田	2		
11	教育	マスコミュニケーション概論Ⅱ	花田 達朗	1年以上	秋学期	水3時限	早稲田	2		
12	教育	広報関係論Ⅰ	堀口 剛	2年以上	春学期	水4時限	早稲田	2		
13	教育	広報関係論Ⅱ	松下 優一	2年以上	秋学期	水4時限	早稲田	2		
14	社会学	平和学Ⅱ-1 (平和と戦争)	多賀 秀敏	2年以上	秋学期	フルオンデマンド		2		
15	社会学	平和学Ⅱ-2 (貧困・格差・人権・環境と平和)		2年以上			早稲田	2		2016年度休講
16	社会学	平和学Ⅰ	多賀 秀敏	1年以上	春学期	フルオンデマンド		2		
17	GEC	Cross-Cultural Distance Learning (CCDL) (Media)	近藤 悠介 他	1年以上	※	※	早稲田	2		
18	GEC	Cross-Cultural Distance Learning (CCDL) (Social and Global Issues)	近藤 悠介 他	1年以上	※	※	早稲田	2		

※クラスによって、学期・曜日時限が異なるため、詳細は「科目一覧」を確認してください。